

商用製品名: FIS VS 360 S - Mortar (Component A)

改訂日: 08.07.2013

バージョン: 2/jp

印刷日: 08.07.2013

## セクション1: 成分、混合物、および企業の名称

### 1.1 製品識別

商用製品名 FIS VS 360 S - Mortar (Component A)

### 1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、および留意すべき使用

\*特定した重要な用途 composite mortar

\*推奨された制限 通常の処理下では、ありません。

### 1.3 製品安全データシートを用意するサプライヤーについての詳細

住所 fischerwerke GmbH & Co. KG  
Weinhalde 14-18  
D-72178 Waldachtal  
電話: +49(0)7443 12-0  
ファックス: +49(0)7443 12-4222  
Eメール: info-sdb@fischer.de販売業者 fischer Japan K.K.  
Seishin Kudan Building 3rd Floor 3-4-15 Kudan Minami Chiyoda-ku  
102-0074 Tokyo, Japan  
電話: +81 50 3675 7782  
ファックス: +81 50 3675 7782  
Eメール: georg.lenz@fischerjapan.co.jp  
インターネット: <http://www.fischerjapan.co.jp>

### 1.4 警察署・消防署への 非常通話番号

緊急電話番号 +49(0)6132-84463 (24h)

## セクション2: 危険の可能性

### 2.1 成分および混合物のクラス

\*欧州議会・理事会規則No. 1272/2008に準ずる等級分類 皮膚刺激 2; H315 眼に対する損傷性 /刺激性 1; H318 皮膚感作性 1; H317

\*67/548/EEC / 1999/45/EC による 分類、とラベル Xi; R41 R43

### 2.2 特性

注意絵表示



GHS05



GHS07

注意喚起語

危険

ラベル上で示される危険なコンポーネント Cement, portland, chemicals, 2-hydroxypropyl methacrylate

## \*H-フレーズ

H315: 皮膚刺激。  
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H318: 重篤な目の損傷。

## P フレーズ (安全に関する表示)

P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。  
P102: 子供の手の届かない所に保管すること。  
P280: 保護手袋/保護衣/防御メガネ/顔面防御を着用すること。  
P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ着用の場合にはなる\u307  
P310: 直ちに毒物情報センターまたは医師に連絡すること。

## セクション3: 組成/構成要素の記述

## 危険な成分

成分		分類 67/548/EEC 分類 1272/2008/EC	濃縮
Quartz (SiO <sub>2</sub> )	CAS番号: 14808-60-7 EG番号: 238-878-4		25.0 - 50.0 % 重量の割合
Cement, portland, chemicals	CAS番号: 68475-76-3 65997-15-1 EG番号: 266-043-4	Xi; R37/38-41 皮膚刺激 2; H315 眼に対する損傷性 /刺激性 1; H318 特定標的臓器/全身 毒性 (単回暴露) 3; H335	10.0 - 25.0 % 重量の割合
2-hydroxypropyl methacrylate	CAS番号: 27813-02-1 EG番号: 248-666-3 索引番号: 607-125-00-5	R43 Xi; R36 眼の刺激. 2; H319 皮膚感作性 1; H317	2.5 - 10.0 % 重量の割合
2-methoxy-1-methylethyl acetate	CAS番号: 108-65-6 EG番号: 203-603-9 索引番号: 607-195-00-7	R10 引火性液体 3; H226	< 0.2 % 重量の割合

## セクション4: 応急処置対策

## 4.1 応急処置対策

一般的助言	症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。 直ちにすべての汚染した衣服を取る / 脱ぐ。
吸入した場合	吸入した場合: 被害者を新鮮な空気の所へ連れ出し、呼吸し易い姿勢で休ませる。
皮膚接触の場合皮膚接触の場合	皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で穏やかに洗う。
目に触れた場合	目に入った場合は、コンタクトレンズをはずし、まぶたの内側も含めて、直ちに最低15分間多量の水で洗う。
飲み込んだ場合	飲み込んだら、ただちに医師に相談し、この容器やラベルを見せます。 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。1-2杯の水を飲みます。 吐き出させない。

## 4.2 重要な急性および後発性症状および影響

徴候 知見なし

## 4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

直ちに医師の援助	入手できるデータはない
特別な医療	入手できるデータはない

## セクション5: 消火作業のための対策

## 5.1 消火液

適切な消火薬剤	二酸化炭素 (CO2) 乾燥粉末 泡 ウォータースプレージェット
---------	---

安全上使用してはいけない消火薬剤 大容量水ジェット

## 5.2 成分および混合物により発生しうる危険の特質

特別の接触危険は、物質が準備、そ 加熱または火災により有毒ガスが発生する  
の燃焼生成物あるい

## 5.3 消火措置に関する注意

消防のための特別の保護設備	火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。
消防上の追加情報	火災の残留物や汚染した消火用水は、関係法規に従って処理する。 水スプレーで、容器および周辺を冷却すること。

## セクション6: 予期しない放出の際の対策

## 6.1 個人の予防措置、保護装備、緊急事態の対処法

個人の警戒	特に、閉所では十分な換気の確保が必要。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。
-------	--

## 6.2 環境保護対策

環境上の警戒	この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。 広範囲に広まるのを防ぐ（防止手段：隔離、オイル・バリアの使用等）。
--------	--

## 6.3 滞留および洗浄のための方法と物質

洗浄の方法	荷役機械を使用する。 回収した物質は、『Disposal considerations - 処分の際に考慮する点』 の解説に従って取り扱う。
-------	--

## 6.4 他の項目参照

参照すべき、他の節	章を参照 8/13
-----------	-----------

## 6.5 追加の指摘

他の情報	現地の規定に従い、処分する。
------	----------------

## セクション7: 取り扱いと貯蔵

### 7.1 安全な処理のための措置

安全な取り扱いについての忠告 通常の処理下では、ありません。  
Caution: During machining in cured state dust is formed.

火と爆発からの身を守るための忠告 予防措置は特には不要。

### 7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保存スペースとコンテナの必要条件 低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。  
地域の規則に従い保存する。  
Keep only in original container.

保存会議上のヒント それぞれの国の規定に従って保管する。

ドイツの保存クラス 10-13 (TRGS 510)

### 7.3 特殊な最終用途

特定の用法 composite mortar  
詳細な指示: 参照箇所 技術データシート。

## セクション8: 曝露の制限と監視 / 人身用防護装備

### 8.1 監視すべきパラメーター

2-methoxy-1-methylethyl acetate

ヨーロッパ

長時間値/mg/m <sup>3</sup>	長時間値/ppm	短時間値/mg/m <sup>3</sup>	短時間値/ppm	メモ	発行日	源
275	50	550	100	Skin	2000/39	24

24 - EU-OEL

### 8.2 曝露の制限と監視 / 人身用防護装備

呼吸の保護 通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護 通常の使用では必要がない。

適切な資料: ブチルゴム, クロロプレン, ニトリルゴム

不適当な資料: PVC使い捨て手袋

資料の厚さ: adjust to application and duration of use

変換期: adjust to application and duration of use

remarks: 製造者から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件（機械の酷使、接触時間）に注意する。

参照物質: 消耗したら取り替える。

目の保護 密着性の高い安全ゴーグル

皮膚および身体保護 適切な保護具を着用する。

メモ: 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、身体保護を選択する

## 一般的な保護と衛生対策

作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。  
 直ちに汚染された衣服を脱がせる。  
 休憩前や終業時には手を洗う。  
 飲食物や動物飼料から離しておきます。  
 この製品を扱う前に、皮膚保護クリームを使う

## 環境保護規則についての情報

環境に対する特別処置は必要ありません。

## セクション9: 物理的かつ化学的特性

## 9.1 物理的および化学的性質についての表示

フォーム	ペースト
色	薄い灰色
芳香	特性
匂いの値	確定されていない
水素イオン指数	入手できるデータはない
融点 [° C]	入手できるデータはない
沸点 [° C]	データなし
引火点 [° C]	> 100 ° C
蒸発速度 [kg/(s*m )]	入手できるデータはない
可燃性	入手できるデータはない
爆発限界 [Vol-% ]	
下限:	確定されていない
上限:	確定されていない
爆発の危険	非爆発性
蒸気圧力 [kPa]	入手できるデータはない
密度 [g/cm ]	1,7 - 1,8 g/cm <sup>3</sup>
温度:	20 ° C
水可溶性 [g/l]	確定されていない
可溶性 [g/l]	入手できるデータはない
n-オクタノール/水の分配係数 (log P O/W)	入手できるデータはない
自動引火性	非自動可燃性
分解温度 [° C]	確定されていない
密度粘性 [kg/(m*s)]	120 - 160 Pas
温度:	20 ° C

## 9.2 その他の報告

蒸気比重(空気=1) 確定されていない

## セクション10: 安定性と反応性

### 10.1 反応性

熱の分解 指示通り保管/適用すれば 分解しない。

### 10.2 化学安定性

化学的安定性 推奨保管条件下では安定。

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られて いない。

### 10.4 防ぐための条件

回避すべき条件 指示通り使用すれば分解 しない。

### 10.5 不適合物質

回避すべき材料 非該当。

### 10.6 危険な分解生成物

危険な分解産物 指示通り使用すれば分解 しない。

## セクション11: 毒物学に関する報告

### 11.1 毒正反応について

皮膚への刺激物影響 皮膚と粘膜に刺激

目への刺激物影響 眼に刺激性。

### 11.2 追加の指摘

他の情報(11章。) 製品自体はテストされて いない。

## セクション12: 環境に関する記述

### 12.1 毒性

#### 12.2 除去のための指示

除去と分配のメカニズム この製品に関する情報なし。

浄化施設内の除去 この製品に関する情報なし。

#### 12.3 生体内濃縮の可能性

生物内蓄積 この製品に関する情報なし。

生物濃縮要因 この製品に関する情報なし。

#### 12.4 培養床の運動性

環境中の分配 この製品に関する情報なし。

## 流動性

可動性: この製品に関する情報なし。

## 12.5 PBT および vPvB 物質評価結果

PBT特性の検出結果 当調剤は高残留性および 高生物蓄積性(vPvB)に該当する物質を含まない。

## 12.6 その他の有害な影響

エコロジーについてのさらに詳しい 製品自体はテストされていない。

情報

## セクション13: 廃棄物処理のための 指示

### 13.1 廃棄物処理の手順

#### 処分考察

一般廃棄物と一緒に処理 してはいけない。各地の 規定に従って、特別の処  
理方法をとる。

この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないよ うに留意する。

残りの容器を空にします。

廃棄物処理は、当局の指示に従うこと。

#### 廃棄物コード

200000 - MUNICIPAL WASTES (HOUSEHOLD WASTE AND SIMILAR COMMERCIAL,  
INDUSTRIAL AND INSTITUTIONAL WASTES) INCLUDING SEPARATELY COLLECTED  
FRACTIONS

欧州廃棄物カタログによ ると、廃棄物コードは製 品ごとに決められている  
のではなく、その応用法 に基づいて決められてい る。

以下の廃棄物コードは、 例である:

製品 (Mortar そして 硬化剤)

200127 - paint, inks, adhesives and resins containing dangerous sub-  
stances

080409 - waste adhesives and sealants containing organic solvents or  
other dangerous substances

cured material そして completely squeezed cartridges

## セクション14: 輸送のための指示

### 14.6 使用者のための注意点

#### 警戒

通常の使用では必要がな い。

### 14.7 MARPOL 条約 73/78 付属書 II および IBC コードに基づく大量輸送

マルポール73/78条約の付属書IIお 非該当

よびバラ積み輸送に係わ\308

### 14.8 追加の指摘

他の情報(14章。)

ADR/RID, ADNR, IMDGコード, ICAO/IATA-DGRの意味 における非危険物

**セクション15: 法規則****15.1 安全、健康および環境保護に関する規定/物質および混合物に関する特別法規定**

追加の規則 非該当。

**15.2 化学物質安全性評価**

安全性評価 関連性のない。この混合物中の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。

**セクション16: 他の情報****R条項の表記**

R10: 引火性。  
 R36: 眼に刺激性。  
 R37/38: 呼吸器官と皮膚に刺激性。  
 R41: 眼に重傷のおそれ。  
 R43: 皮膚接触による感作発生の可能性。

**H条項の表記**

H226: 引火性の液体および蒸気。  
 H315: 皮膚刺激。  
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 H318: 重篤な目の損傷。  
 H319: 目に強い刺激。  
 H335: 呼吸器への刺激のおそれ。

**危険等級の表記**

Skin Irrit.: Skin irritation  
 眼に対する損傷性/刺激性: 深刻な眼の損傷/刺激  
 皮膚感作性: 皮膚感作  
 特定の標的臓器毒性 (一度の曝露)  
 眼の刺激.: 重篤な眼への刺激  
 引火性液体: 可燃性液状物質

\*欧州議会・理事会規則EC No.  
 1207/2008 [CLP] に準ずる、混合物  
 の\u7b4

分類	評価
Skin Irrit. 2; H315	計算済み
Eye Dam. 1; H318	計算済み
Skin Sens. 1; H317	計算済み

\*推奨された制限

通常の処理下では、・り  
 ません。

この情報は、現時点での私たちの知識と経験に従って提供しています。安全性データシートは\u



商用製品名: FIS VS 360 S - 硬化剤 (Component B)

改訂日: 08.07.2013

バージョン: 2/jp

印刷日: 08.07.2013

## セクション1: 成分、混合物、および企業の名称

### 1.1 製品識別

\*商用製品名 FIS VS 360 S - 硬化剤 (Component B)

### 1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、および留意すべき使用

特定した重要な用途 composite mortar

\*推奨された制限 通常の処理下では、・りません。

### 1.3 製品安全データシートを用意するサプライヤーについての詳細

住所 fischerwerke GmbH & Co. KG  
Weinhalde 14-18  
D-72178 Waldachtal  
電話: +49(0)7443 12-0  
ファックス: +49(0)7443 12-4222  
Eメール: info-sdb@fischer.de販売業者 fischer Japan K.K.  
Seishin Kudan Building 3rd Floor 3-4-15 Kudan Minami Chiyoda-ku  
102-0074 Tokyo, Japan  
電話: +81 50 3675 7782  
ファックス: +81 50 3675 7782  
Eメール: georg.lenz@fischerjapan.co.jp  
インターネット: <http://www.fischerjapan.co.jp>

### 1.4 警察署・消防署への 非常通話番号

\*緊急電話番号 +49(0)6132-84463 (24h)

## セクション2: 危険の可能性

### 2.1 成分および混合物のクラス

\*欧州議会・理事会規則No. 1272/2008に準ずる等級分類 眼の刺激. 2; H319 皮膚感作性 1; H317

\*67/548/EEC / 1999/45/EC による 0; R7 R43  
分類、とラベル

### 2.2 特性

\*注意絵表示



GHS07

\*注意喚起語

警告

商用製品名: FIS VS 360 S - 硬化剤 (Component B)

改訂日: 08.07.2013

バージョン: 2/jp

印刷日: 08.07.2013

ラベル上で示される危険なコンポーネント

\*H-フレーズ

 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 H319: 目に強い刺激。

P フレーズ (安全に関する表示)

 P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。  
 P102: 子供の手の届かない所に保管すること。  
 P280: 保護手袋/保護衣/防御メガネ/顔面防御を着用すること。

### セクション3: 組成/構成要素の記述

#### 危険な成分

成分		分類 67/548/EEC 分類 1272/2008/EC	濃縮
Quartz (SiO <sub>2</sub> )	CAS番号: 14808-60-7 EG番号: 238-878-4		25.0 - 50.0 % 重量の割合
dibenzoyl peroxide	CAS番号: 94-36-0 EG番号: 202-327-6 索引番号: 617-008-00-0 REACH 番号: 01-2119511472-50-xxxx	E; R3 O; R7 Xi; R36 R43 有機過酸化物 B; H241 眼の刺激. 2; H319 皮膚感作性 1; H317	10.0 - 25.0 % 重量の割合

### セクション4: 応急処置対策

#### 4.1 応急処置対策

一般的助言

 症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。  
 直ちにすべての汚染した衣服を取る / 脱ぐ。

吸入した場合

吸入した場合: 被害者を新鮮な空気の所へ連れ出し、呼吸し易い姿勢で休ませる。

皮膚接触の場合皮膚接触の場合

皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で穏やかに洗う。

目に触れた場合

目に入った場合は、コンタクトレンズをはずし、まぶたの内側も含めて、直ちに最低15分間多量の水で洗う。

飲み込んだ場合

 飲み込んだら、ただちに医師に相談し、この容器やラベルを見せます。  
 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。1-2杯の水を飲みます。  
 吐き出させない。

#### 4.2 重要な急性および後発性症状および影響

徴候

知見なし

#### 4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

直ちに医師の援助

入手できるデータはない

特別な医療

入手できるデータはない

### セクション5: 消火作業のための対策

#### 5.1 消火液

適切な消火薬剤

 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)  
 乾燥粉末

泡  
ウォータースプレージェット

安全上使用してはいけない消火薬剤 大容量水ジェット

## 5.2 成分および混合物により発生しうる危険の特質

特別の接触危険は、物質が準備、その加熱または火災により有毒ガスが発生するの燃焼生成物ある

## 5.3 消火措置に関する注意

消防のための特別の保護設備

火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。  
火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

消防上の追加情報

火災の残留物や汚染した消火用水は、関係法規に従って処理する。  
水スプレーで、容器および周辺を冷却すること。 Container may rupture on heating.  
水スプレーで、容器および周辺を冷却すること。

## セクション6: 予期しない放出の際の対策

### 6.1 個人の予防措置、保護装備、緊急事態の対処法

個人の警戒

特に、閉所では十分な換気の確保が必要。  
こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。

### 6.2 環境保護対策

環境上の警戒

この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。  
広範囲に広まるのを防ぐ（防止手段：隔離、オイル・バリアの使用等）。

### 6.3 滞留および洗浄のための方法と物質

洗浄の方法

荷役機械を使用する。  
回収した物質は、『Disposal considerations - 処分の際に考慮する点』の解説に従って取り扱う。

### 6.4 他の項目参照

参照すべき、他の節

章を参照 7/8/13  
章を参照 8/13

### 6.5 追加の指摘

他の情報

現地の規定に従い、処分する。

## セクション7: 取り扱いと貯蔵

### 7.1 安全な処理のための措置

安全な取り扱いについての忠告

通常の処理下では、ありません。  
Caution: During machining in cured state dust is formed.

火と爆発からの身を守るための忠告 予防措置は特には不要。

商用製品名: FIS VS 360 S - 硬化剤 (Component B)

改訂日: 08.07.2013

バージョン: 2/jp

印刷日: 08.07.2013

## 7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保存スペースとコンテナの必要条件 低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。  
地域の規則に従い保存する。  
Keep only in original container.

保存会議上のヒント それぞれの国の規定に従って保管する。

ドイツの保存クラス 10-13 (TRGS 510)

TRGS 510 LGK 10-13

## 7.3 特殊な最終用途

特定の用法 詳細な指示: 参照箇所 技術データシート,  
composite mortar

## セクション8: 曝露の制限と監視 / 人身用防護装備

### 8.1 監視すべきパラメーター

### 8.2 曝露の制限と監視 / 人身用防護装備

呼吸の保護 通常、呼吸用保護具は必要ない。

#### 手の保護

適切な資料: ブチルゴム, ニトリルゴム, クロロプレン

不適当な資料: PVC使い捨て手袋

資料の厚さ:  $\geq 0,5 \text{ mm}$

変換期:  $>120 \text{ min}$

remarks: 消耗したら取り替える。手袋の透過に関する特徴の情報は、手袋の供給業者に依頼。耐化学薬品防護手袋を毎日使用すると、外界からの様々な影響(例: 温度)のため、耐久性は、EN374に準じて測定された破過時間よりも、かなり短くなる可能性があることに留意する。

通常の使用では必要がない。

適切な資料: ブチルゴム, クロロプレン, ニトリルゴム

不適当な資料: PVC使い捨て手袋

資料の厚さ: adjust to application and duration of use

変換期: adjust to application and duration of use

remarks: 製造者から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件(機械の酷使、接触時間)に注意する。

参照物質: 消耗したら取り替える。

目の保護 密着性の高い安全ゴーグル

皮膚および身体保護 適切な保護具を着用する。

メモ: 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、身体保護を選択する

一般的な保護と衛生対策	作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。 直ちに汚染された衣服を脱がせる。 休憩前や終業時には手を洗う。 飲食物や動物飼料から離しておきます。 この製品を扱う前に、皮膚保護クリームを使う
環境保護規則についての情報	環境に対する特別処置は必要ありません。
技術的な保護対策	非該当。

## セクション9: 物理的かつ化学的特性

### 9.1 物理的および化学的性質についての表示

フォーム	ペースト
色	黒色
芳香	特性
匂いの値	確定されていない
水素イオン指数	入手できるデータはない
融点 [° C]	入手できるデータはない
沸点 [° C]	データなし
引火点 [° C]	> 100 ° C
蒸発速度 [kg/(s*m )]	入手できるデータはない
可燃性	入手できるデータはない
爆発限界 [Vol-% ]	
下限:	確定されていない
上限:	確定されていない
爆発の危険	非爆発性
蒸気圧力 [kPa]	確定されていない 入手できるデータはない
密度 [g/cm ]	1,6 - 1,65 g/cm <sup>3</sup>
温度:	20 ° C
水可溶性 [g/l]	確定されていない
可溶性 [g/l]	入手できるデータはない
n-オクタノール/水の分配係数 (log P O/W)	入手できるデータはない
自己発火温度 [° C]	確定されていない
自動引火性	非自動可燃性
分解温度 [° C]	確定されていない

密度粘性 [kg/(m\*s)] 100 - 160

温度: 20 ° C

## 9.2 その他の報告

特性を酸化させること 酸化性  
蒸気比重(空気=1) 確定されていない

## セクション10: 安定性と反応性

## 10.1 反応性

熱の分解 指示通り保管/適用すれば 分解しない。

## 10.2 化学安定性

化学的安定性 推奨保管条件下では安定。

## 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られて いない。

## 10.4 防ぐための条件

回避すべき条件 指示通り使用すれば分解 しない。

## 10.5 不適合物質

回避すべき材料 指示通り使用すれば分解 しない。  
非該当。

## 10.6 危険な分解生成物

危険な分解産物 指示通り使用すれば分解 しない。

## セクション11: 毒物学に関する報告

## 11.1 毒正反応について

## 危険な成分

## ジベンゾイル過酸化物

口内毒性 [mg/kg]	試験基準	試験種
> 5000	LD50	ラット
吸入による毒性 [mg/l]	試験基準	試験種
> 24300	LC50	ラット

皮膚への刺激物影響 皮膚と粘膜に刺激

目への刺激物影響 眼に刺激性。

## 11.2 追加の指摘

他の情報(11章。) この製品に関する情報なし。  
製品自体はテストされて いない。

セクション12: 環境に関する記述

## 12.1 毒性

## 12.2 除去のための指示

除去と分配のメカニズム	この製品に関する情報なし。
浄化施設内の除去	この製品に関する情報なし。
生物分解性	この製品に関する情報なし。

## 12.3 生体内濃縮の可能性

生物内蓄積	この製品に関する情報なし。
生物濃縮要因	この製品に関する情報なし。

## 12.4 培養床の運動性

環境中の分配	この製品に関する情報なし。
流動性	この製品に関する情報なし。

## 12.5 PBT および vPvB 物質評価結果

PBT特性の検出結果	当調剤は残留性、生物蓄積性、毒性(PBT)に該当する物質を含まない。 当調剤は高残留性および高生物蓄積性(vPvB)に該当する物質を含まない。
------------	--

## 12.6 その他の有害な影響

エコロジーについてのさらに詳しい情報	生態学上の情報なし。 製品自体はテストされていない。
--------------------	-------------------------------

セクション13: 廃棄物処理のための指示

## 13.1 廃棄物処理の手順

処分考察	この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。 廃棄物処理は、当局の指示に従うこと。 残りの容器を空にします。
廃棄物コード	欧州廃棄物カタログによると、廃棄物コードは製品ごとに決められているのではなく、その応用法に基づいて決められている。 以下の廃棄物コードは、例である: 製品 (Mortar そして 硬化剤) 200127 - paint, inks, adhesives and resins containing dangerous substances 080409 - waste adhesives and sealants containing organic solvents or other dangerous substances cured material そして completely squeezed cartridges 200000 - MUNICIPAL WASTES (HOUSEHOLD WASTE AND SIMILAR COMMERCIAL, INDUSTRIAL AND INSTITUTIONAL WASTES) INCLUDING SEPARATELY COLLECTED FRACTIONS

## セクション14: 輸送のための指示

	陸上交通	海上輸送IMDG	空輸ICAO/IATA
品物の記述	No dangerous good according to ADR	No dangerous good according to IMDG	No dangerous good according to IATA
正確な発送者名		Non dangerous good	Non dangerous good

### 14.6 使用者のための注意点

**警戒** 通常の使用では必要がない。

### 14.7 MARPOL 条約 73/78 付属書 II および IBC コードに基づく大量輸送

マルポール73/78条約の付属書IIおよびバラ積み輸送に係わ\308 非該当

### 14.8 追加の指摘

他の情報(14章。) ADR/RID, ADN, IMDGコード, ICAO/IATA-DGRの意味 における非危険物

## セクション15: 法規則

### 15.1 安全、健康および環境保護に関する規定/物質および混合物に関する特別法規定

追加の規則 非該当。

### 15.2 化学物質安全性評価

安全性評価 関連性のない。この混合物中の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。

## セクション16: 他の情報

R条項の表記 R 3: 衝撃、摩擦、火気、その他の発火源による爆発の危険がきわめて高い。  
R36: 眼に刺激性。  
R43: 皮膚接触による感作発生の可能性。  
R 7: 火災発生の可能性。

H条項の表記 H241: 熱すると火災や爆発のおそれ。  
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319: 目に強い刺激。

危険等級の表記 眼の刺激.: 重篤な眼への刺激  
皮膚感作性: 皮膚感作  
有機過酸化物: 有機過酸化物。

\*欧州議会・理事会規則EC No. 1207/2008 [CLP] に準ずる、混合物の\7b4

分類	評価
Eye Irrit. 2; H319	計算済み
Skin Sens. 1; H317	計算済み

\*推奨された制限 通常の処理下では、・リ  
ません。

この情報は、現時点での私たちの知識と経験に従って提供しています。安全性データシートは\u